NPO PILCON

ANNUAL REPORT 2014

NPO 法人ピルコン 2014 年度活動報告書

PILCON

THINK ABOUT LOVE & LIFE!

人生をデザインするため、

性を学ぼう

あなたにとって「性」とは、どんなイメージですか？

多くの人にとって、恥ずかしい、おおっぴらには話しにくいテーマかもしれません。

一方で、あやふやな性知識のために傷ついたり、
「こんなはずではなかった・・・・・・」「どうしたらいいの？」と人知れず悩む若者も少なくありません。

性を知ることは、自分と相手を愛すること。
対話から学ぶ性の健康教育を、NPO 法人ピルコンは広げていきます。

Photo by Jerome Chi

NPO 法人ピルコン 2014 年度活動報告書

目次

- 代表ご挨拶 2
- ピルコンの取り組む社会問題 3
- ピルコンの事業概要 4
- 2014 年度活動報告 5
  LILY/Parents for 2/Pilcon Café/その他啓発
- ピルコンを応援してくださる皆様 13
- メディア掲載・受賞暦 13
- ご支援のお願い 14
- 法人概要

代表ご挨拶

若者の性トラブルの予防に真っ向から取り組む数少ない NPO として、2013 年 10 月に誕生した NPO 法人ピルコン。
2014 年度は、私たちにとって、法人化してから 2 期目の年となりました。

学生団体として 2007 年より活動を始めてから、本当にたくさんの方々に支えられ、2014 年度は 17 回（14 校）、約 1,700 名の高校生に性の健康教育×キャリア教育プログラム LILY を届けました。そして、保護者を対象とする家庭での性教育サポートプログラム Parents for 2、気軽に性やライフプランを学ぶイベント Pilcon Cafe の企画・運営にも取り組み、性の健康について明るい雰囲気の中で対話を通じて学ぶことで、自分らしく生きる、豊かな人間関係を築いていくための事業を作ってきました。

私はもともと、20 歳の時に予期しない妊娠と中絶を経験した一当時者でした。
そこから、思いを共にする仲間達や、ご理解とご協力をいただける医療従事者の方、ご支援いただける企業や個人の方、一緒に子どもたちの性と向き合いながら、豊かな人生を歩んでほしいと願う教育関係者や保護者の皆様と、性の健康の学びの輪を広げてこられたのは、何よりも人のつながりのおかげだと思います。

2014 年度、何より嬉しかったことが 2 つあります。
１つは、とある高校で LILY の講演後、先生から「実は過去につらい経験をした生徒がいたのですが、その子が今日のお話を聞いて、『自分の将来やりたいことに向けて頑張りたい』って言っていたんですよ。」と教えてくださったこと。してもう 1 つは、一緒に大学生・若手社会人のフェロー（ボランティアスタッフ）が、生徒の前で堂々と知識や自分の考えを伝えることで、めきめきと自信をつけ、学びながら将来の展望を切り拓いていっていることです。若い世代をエンパワーしていく実感が、私の原動力になっています。

性のトラブルは、日常生活の延長上で誰もが関わりうること。それでいて、一人ひとりの生き方に大きく関わってくる大事なことでもあります。自分の身を守り、豊かな人間関係の中で、困った時は必要な支援を得ながらケアしていく。
そんな当たり前ことをこれからも当たり前に実現できるようにピルコンは進んでいきたいと思います。
今後とも皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

NPO 法人ピルコン
理事長
染矢明日香

ピルコンの取り組む社会問題　ー今、日本の若者の性に起こっていること

生まれてくる赤ちゃんの 1/5 の数が「産まない」選択をされています

日本の年間中絶件数は、年間約 19 万件。出生数の 1/5 の数に及びます。その内、10 代の中絶件数は年間 2 万件。1 日に換算すると約 53 件となります

出生数：103万人　　中絶件数：19万人

平成 25 年度厚生労働省「衛生行政報告例の概要」より

性経験のある女子高校生の約 8 人に 1 人が性感染症に感染

10 代～20 代の若者に、自覚症状が少ないクラミジア等の性感染症が流行しています。感染に気付かず放置すると、将来の不妊の原因になることがあります

平成 18 年国立保健医療科学院疫学部調査より

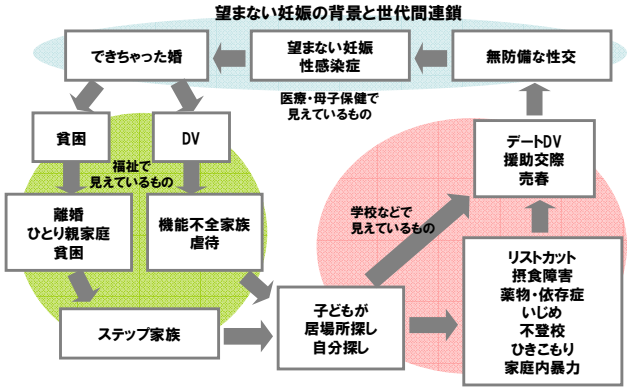
問題の背景にあるのは、性の健康の知識や当事者意識・自尊心の不足

インターネットやコミュニケーション技術の発達により、偏った性情報を鵜呑みにしたり、人間関係がうまく築けない子どもが増えています

若者の性のトラブルが起こる構造

望まない妊娠をきっかけに、様々な社会的なリスクが連鎖

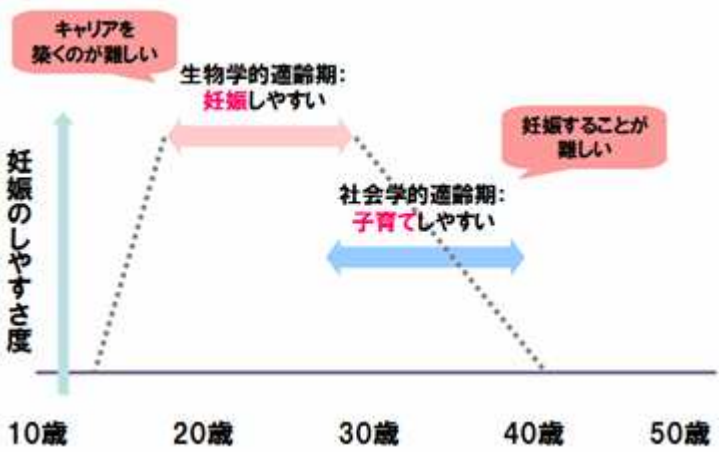
各関連機関が協力して対応していくことが必要です



種部, 2013 年『困難な背景を持つ妊娠、妊娠中に観察されるハイリスク要因』より

妊娠のタイミングが悩ましい日本女性

子供を産む・産まないは個人の選択ではありますが、晩婚化・晩産化を背景に、少子化や不妊に悩むカップルも増えています。ライフコースや生き方が多様化する今、自分が望む将来設計をデザインするためには、性を学ぶことが重要です



問題解決のためにできること

「包括的性教育」が性行動を慎重化させる

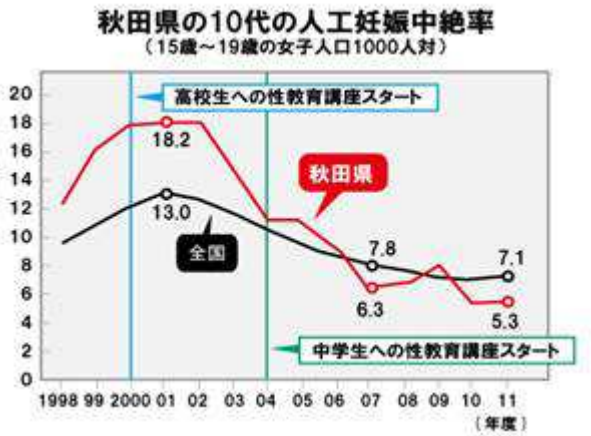
節制や禁欲とともに、避妊や性感染症についても教える性教育を、「包括的性教育」と呼びます。

国連機関などの研究により、「包括的性教育は若者の性行動を促進することはなく、むしろ責任を高める」ということが示されおり、

WHO（世界保健機構）や UNESCO（国際連合教育科学文化機関）から理想的な性教育の指針などがまとめられています。

秋田県におけるモデルケース

日本における先進的な事例として、秋田県では秋田県教育庁・秋田県教育委員会が地元の医師会と連携し、医師による性教育講座を県内の高校・中学で行っています。県内すべての中高生が在学中に一度は妊娠・出産や避妊、性感染症などについて話を聞く機会を設けています。秋田県の 10 代の人工妊娠中絶率が全国平均を大きく上回った 2000 年度からスタートし、2011 年度には、その 1/3 にまで中絶率が減少。全国平均を下回るようになりました。



秋田県教育庁発表より作成

ピルコンの事業概要

NPO ピルコンは、自分らしい人生と豊かな人間関係を築ける社会を目指し、若い世代とそれを取り巻くステークホルダーに、性の健康の知識を学び、ライフスキルを育む機会を提供します。関連組織や一般市民と連携し、「場作り」と「人の育成」をしています

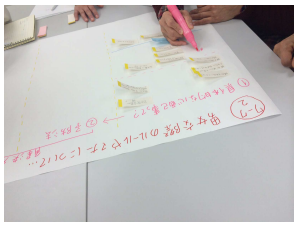
主に、以下の 4 つの取り組みを行っています。

1 中高生向け
性教育×キャリア教育プログラム
LILY<Link Life of Youth/リリー>

大学生・若手社会人が身近な目線で伝える
人生設計に必要な性の健康講座

2 保護者向け
家庭での性教育サポートプログラム
Parents for <ペアレンツフォーツー>

家庭で実施できる性教育について
学び、考える講座



3 一般向け
リプロダクティブヘルス/ライツ*勉強会
Pilcon College<ピルコンカレッジ>

セクシュアリティ・ジェンダーを学ぶ
講座・ワークショップイベント

4 その他啓発・講演活動

各種イベントへの出演や、WEBページ
での情報発信、執筆活動など

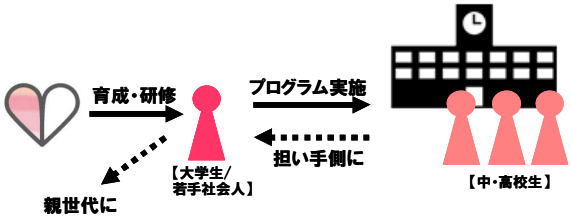
*性と生殖に関する健康・権利

2014 年度事業報告

[1] 中高生向け 性教育×キャリア教育プログラム LILY<Link Life of Youth/リリー>

大学生・若手社会人が身近な目線で伝える人生設計に必要な性の健康講座/2014 年度電通育英会助成プログラム

中・高校生を対象に、大学生・若手社会人が身近な立場から、自分の将来を守るために必要な知識として性やライフプランニングについてわかりやすく伝える出張授業を実施しています。担い手の大学生・若手社会人と、受け手の中・高校生の両方にライフ＆キャリアプランニングの学びの普及と担い手の循環を促すモデルが特徴。受け手に年齢や立場の近い学生を担い手にすることで、受け手の関心を高め、ロールモデルとして提示する共に、正しい性知識を教えられる将来の親世代を増やすことを目的としています。



実施概要

研修を受けた大学生・社会人スタッフが、前半は講義形式で二次性徴や妊娠、避妊、性感染症とその予防、性情報・ネットとの関わり方についてお話をします。その後、ゲームやディスカッションを通し、予防行動や男女交際のあり方について考えることで、性行動の慎重化と予防行動の動機付けを行います。（1 回の講座で 90 分～120 分程度/学校を訪問）

実績

2014 年度は合計で 17 回（14 校）、約 1700 名の高校生に LILY を実施。全日制 5 校（内、女子高 1 校）、通信制 5 校、定時制 4 校を対象に 30 名の大学生・社会人ボランティアスタッフと共に届けました。

【2014 年度　LILY 実施校一覧】

	学校名	対象生徒	実施月
1	東京/公立高校	高校 2 年生男女	6 月
2	KTC 中央高等学院立川キャンパス	高校 1～3 年生男女	7 月
3	KTC 中央高等学院厚木キャンパス	高校 1～3 年生男女	7 月
4	KTC 中央高等学院大宮キャンパス	高校 1～3 年生男女	7 月
5	KTC 中央高等学院横浜キャンパス	高校 1～3 年生男女	7 月
6	KTC 中央高等学院柏キャンパス	高校 1～3 年生男女	7 月
7	神奈川/公立高校	高校 1 年生	10 月
8	東京都立赤羽商業高校	高校 2 年生男女	10 月
9	私立品川エトワール女子高校	高校 3 年生女子	11 月
10	KTC 中央高等学院厚木キャンパス②	高校 1～2 年生男女	11 月
11	東京/公立高校	高校 2 年生男女	11 月
13	東京/公立高校定時制	高校 1～3 年生男女	11 月
12	神奈川県立港北高校	高校 3 年生男女	11 月
14	東京/公立高校定時制	高校 1～4 年生男女	12 月
15	大阪府立今宮工科高校定時制	高校 1～4 年生男女	12 月
16	神奈川/公立高校定時制	高校 4 年生男女	1 月
17	KTC 中央高等学院立川キャンパス	高校 1～3 年生男女	2 月

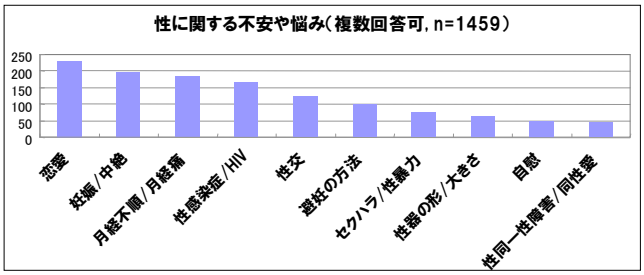
事前・事後アンケート分析結果

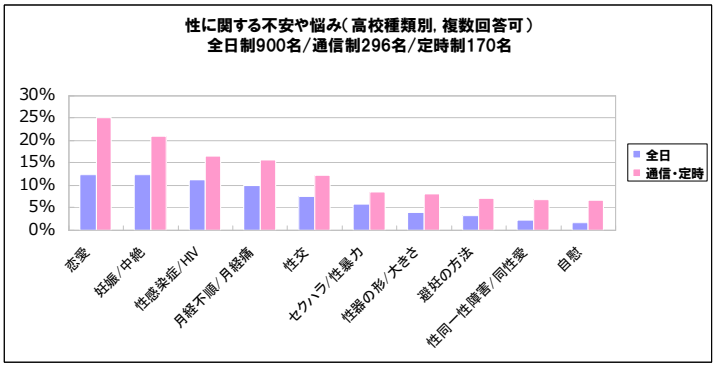
【アンケート概要】

- 実施時期　2014 年 6 月～2015 年 2 月
- 対象者　全日制・通信制・定時制高校 1 年生～4 年生 14 校の生徒約 1600 名（16 回分）
- 回答者数　事前/n=1459、事後/n=1366
- 男女比　男子：女子：性別不明＝6:8:1
- 調査方法　授業前と授業実施後に無記名アンケートを実施し、性に関する知識の正答率と意識・態度の変化を定性・定量的に分析を行った

多くの生徒が性についての不安・悩みを持っている

6～7 人に 1 人の割合で生徒が恋愛や妊娠・中絶について不安や悩みをもっていると回答。また、月経トラブルに関する悩みを持つ女子生徒は 4 人に 1 人の割合で存在していました。また、全日制高校と比較し、通信制・定時制高校の生徒はより性についての不安や悩みをもっていることがわかりました。

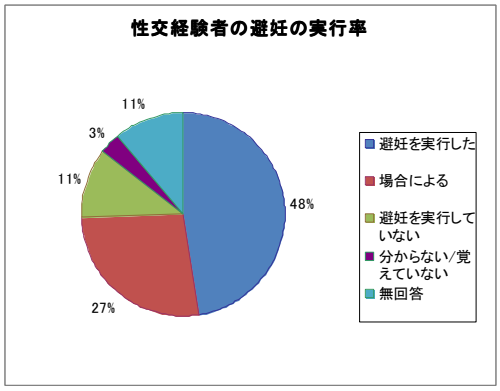




4 人に 1 人の生徒が性経験有。その内避妊をしていると答えた生徒は半数以下

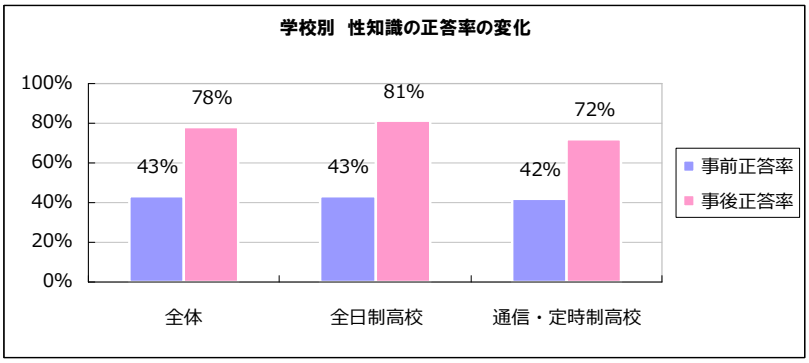
27%の生徒が「性経験がある」と回答（性経験がない:66%、無回答：7%）。

性経験があると回答した生徒の内、避妊を「実行した」と回答する生徒は 48%にとどまり、場合による 27%、実行していない 11%、無回答 11%、分からない/覚えていない 3%と続き、避妊の実行について不確実な状況がうかがえました。



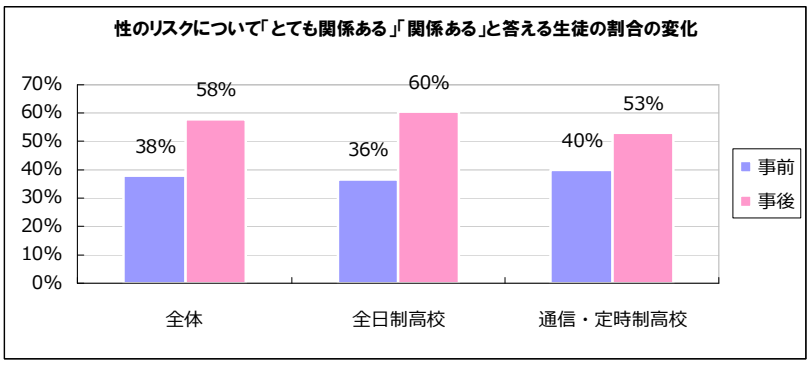
LILY の実施後、性知識の正答率が 4 割上昇

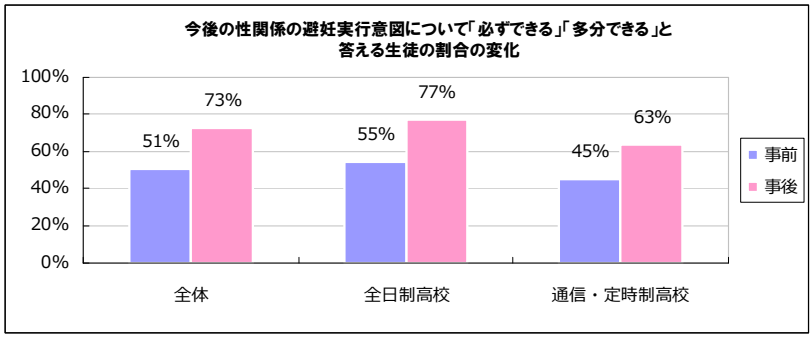
「膣外射精で避妊はできない」「性感染症には自覚症状のないものもある」など、15 項目の性知識に関する正答率が 36%上昇しました。また、全日制高校と通信・定時制高校では、事前の正答率はほぼ変わらなかった一方で、事後の正答率は 1 割ほど差が出ました。



LILY の実施後、性リスクの当事者意識と避妊への積極的態度が向上

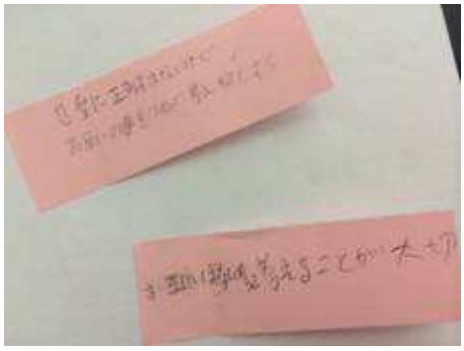
「今後の自分にとって、性感染症や予期しない妊娠は関係のあることだと思いますか？」という問いに対し、「とても関係ある」「関係ある」と答える生徒の割合が 20%上昇（38%→58%）。また、今後の性関係において避妊を「必ずできる」「多分できる」と答える割合においては 18%上昇しました（55%→73%）。いずれも、通信・定時制高校の変化率は全日制高校と比較して鈍いものとなりました。





生徒さんの声

LILY を受けた生徒からは、男女共に知識を身につけ、自分のからだを守る大切さ、コミュニケーション・思いやりの大切さに気付く声を多くいただきました。



すごく分かりやすくて、ためになった。自分がこういう立場だったら・・・？を考えながら話が聞けた。自分に関係あることだから、今後気をつけるようにしたいと思った。（高校３年女子）

将来、性に関することに少なからず関わるかもしれないので、今日の話を聞けて良かった。もっと詳しく聞いてみたいと思った。（高校２年女子）

今回の話を聞いてお互いにコミュニケーションを取らなきゃいい関係になれないのかな思いました。参加型ワークショップはとても楽しかったです。エイズについて一つでも知れたことに関しては友達や彼氏に教えていこうと思います。（高校２年女子）

恋愛はするかしないかはわからないけど、将来確実に役に立つことを学べたので良かった。（高校１年男子）

自分できちんと考えて決断する。知識はちゃんともっておくこと。それが自分、相手を傷付けないためのことだと思った。（高校２年男子）

今までよくわかっていなかった性知識を知ることができた。中絶のことの重大さを知ることができた。（高校２年男子）

担当教員の声

学校の担当教員の方からは、身近な目線からの体験談や事前・事後アンケートに基づく内容設計について評価いただく声を多くいただきました。

特別授業という形で生徒と近い目線でお話いただけたので、生徒も真剣に聞いてくれた。
教員では言いづらい当事者としての体験談もお話いただけたのがよかったです。

事前アンケートも実施して頂き、生徒の現状を踏まえた上で授業を行って頂いたため、適切な対応ができたと思います。
事後アンケートからも生徒の変化がうかがえ、生徒の性に対する意識が高まったと感じています。

フェロー（ボランティアスタッフ）の声

2014 年度は、14 名の学生（大学生・大学院生）と 16 名の社会人が参加しました。様々な背景を持つ人と性に関わる問題・課題について考えられたこと、プレゼンスキルの向上、教育現場で直接高校生や先生方と接した経験について今後活かしていきたいという声が多く挙げられました。

ピルコンで様々なイベントや勉強会に参加し、知識を増やすことができ、視野を広げることができたことが良い経験でした。また特に LILY プログラムでのプレゼン経験は印象に残っています。プレゼンターとしてプログラムに参加することはピルコンに参加した当初の目標でもあり、それが達成できたことは嬉しかったです。学業との両立が思うようにいかず、数をこなすことはできませんでしたが、1 回のプレゼンターとしての経験からも多くのことを学ぶことができたように思います。（看護系学部・4 年）

プレゼンターとして人前で話してみてわかりやすく人に伝えることの難しさ、なにより伝えたいという思いの大切さを学ぶことができました。講演会のあとのアンケートで生徒さんからのコメントを読んで学校の授業ではやはりまだ不十分でありピルコンのような団体の活動は非常に価値があることであると感じました。また、性教育の講演会で実際 に生徒の人たちとお話できたり、先生方の姿を見ることができたのはいい刺激となり、今後の勉強にもつなげていきたいと思います。（国際系学部・3 年）

高校での講座に参加し、限られた時間で伝えることの難しさを感じたと同時に、性教育講座を通じて生徒とひと時でも交流を持てました。また、イベントや研修での学びを通じ、自分自身、もやもやと抱えていたジェンダーに対する疑問、日本社会の問題をはっきり意識できるようになり、知識は自分を守る鎧になると感じました。さまざまなバックグラウンドをもつフェローのみなさんに会えたこと。毎回過ごせる時間は短時間でも、濃い時間を過ごせていると思います。（社会人・5 年目）

2015 年度の事業展開

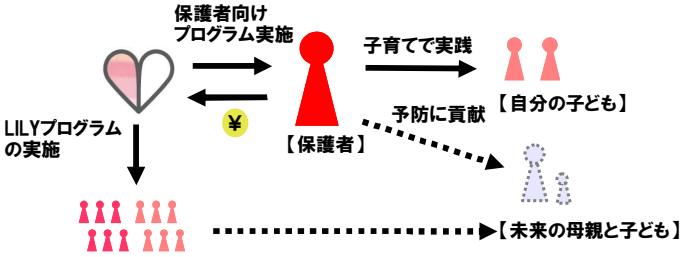
- 年間で 30 校、2000 名への生徒の実施を 30 名のスタッフと共に目指します。
- 学校の種別や生徒の状況にあわせて、より生徒のニーズに応じたプログラムの開発とブラッシュアップを行います
- 将来的には地域行政との連携した取り組みや、LILY の研修・運営ノウハウを蓄積し、他地域での展開を目指します

[2]保護者向け家庭での性教育サポートプログラム　Parents for <ペアレンツフォーツー>

家庭で実施できる性教育について学び、考える講座

保護者を対象に、正しい性知識を身につけ、家庭での性教育実践をサポートすると共に、プログラム参加費の一部を中・高校での性教育プログラムの運営費としてつなげることで、未来の母親と子どもの支援にもつながるプログラム。

2014 年度は合計で３回のワークショップ・座談会を開催しました。



開催実績

● 親子向けワークショップ　【わたしの生まれたとき絵本をつくろう】

12/5（日）開催 / 対象：年長～小学低学年の親子４組

生まれたときにまつわる絵本読み聞かせを行い、親子で夫婦の出会いと子どもの誕生をテーマとした絵本を作成しました

●親向けワークショップ　【思春期を持つ親のフリートークカフェ】

2/8（日）開催 / 対象：中学生～高校生の子どもを持つ保護者　合計４名

●親向けワークショップ　【子どもの思春期を考える、 保護者のための座談会】

3/29（日）開催 /

対象：町田市近郊在住の小学生～高校生の子どもを持つ保護者　合計９名

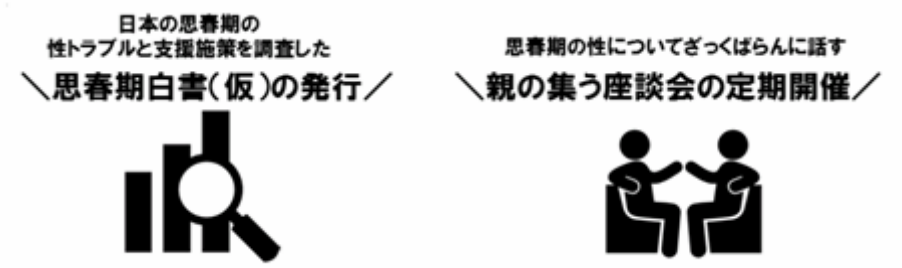
参加者の声（フリートークカフェ、座談会参加者感想より一部抜粋）

- あまり普段かしこまって考えることがないので、自由な雰囲気の中で話合えたのはとても楽しかったです
- 性については、夫婦関係にもとてもつながるので、夫も参加できるような場をつくっていってほしいです。
- ワークの方法がとても興味深かったです。家では割とよくコミュニケーションをとっていると思いますが、男女交際の悩み解消に、アドバイスいただいたように失敗から学んだ経験をもっと取り入れようと思います。
- 皆さんが考えていることを、ワークを通じて出し合えたのがよかった。短時間で内容が濃く有意義な会だったと思います。

今後の展望

地域課題の洗い出しと保護者への情報提供や場作りのサポート

保護者へのアンケート・インタビュー調査や、座談会を重ね、地域により、思春期のこどもの早熟度や性のトラブルの課題の深刻度に差があり、重点的に取り組む地域を見極める必要性があることがわかりました。また、多くの保護者が性に対する知識に不安がある一方で、知識を学び、保護者同士で話すことで不安が解消されることが示唆されました。今後は地域における思春期の性トラブルの現状を調査し、まとめた思春期白書の発行と、親の集う座談会の定期開催を行っていきます。



[3] 一般向けイベント事業 Pilcon Café＜ピルコンカフェ＞

2014 年度は合計 14 回のイベント・勉強会を開催し、のべ 200 名以上の方にご参加いただきました。

【開催イベント一覧】

日時	イベントタイトル	講師・ゲスト	会場	内容	参加者（名）
2014年 4月6日	PILCON CAFÉ Vol.1　LOVE CAFÉ	OLIVIA（ラブライフアドバイザー）/水嶋かおりん（風俗嬢講師）/木村映里（看護学生団体ION元代表）	渋谷Café LAX	恋愛や性に関わる専門家として活躍している女性たちと、恋愛・パートナーシップについて語るイベント。	24
5月21日	特別養子縁組推進キャンペーン×NPOピルコン共催企画 「女性のライフスタイルと特別養子縁組という選択」	森啓子氏（日本財団）/小川多鶴氏（一般社団法人アクロスジャパン代表理事）/ 大葉ナナコ氏（公益社団法人日本誕生学協会代表理事）/西田陽光氏（次世代社会研究機構 代表理事）	日本財団	特別養子縁組推進キャンペーンと、NPOピルコンの共同企画。 特別養子縁組の現状について学びながら、参加者同士で「女性のライフスタイルと特別養子縁組という選択」というテーマでディスカッションを行いました。	30
5月25日	PILCON MO-CAFE -Think "HANDICAP"- 「特別支援学級の先生に聞く！障がいを持つ子の育て方・接し方」	石川良枝氏（特別支援学級教諭）	SAKURAカフェ	埼玉県の小学校で、特別支援学級教諭の石川先生に、障がいを持つ子の育て方や寄り添い方についてお伺いしました。	10
6月15日	ピルコン勉強会月経トラブルと低用量ピル	蓮尾豊氏（産婦人科医）	築地社会教育会館	低用量ピルのエキスパート・産婦人科医の蓮尾先生に低用量ピルの基本的な知識として、作用・効用とメリット・デメリット、トラブル時の対処法、最新事情などをお伺いしました。	12
6月21日	ピルコン勉強会「セクシャリティー入門と性感染症予防啓発」	村瀬幸浩氏（“人間と性”教育研究協議会元幹事）・堀成美氏（国立感染症センター）	ほっとプラザはるみ	セクシャリティ教育の第一人者である村瀬幸浩先生に「ヒューマンセクソロジー入門」を、性感染症予防啓発の専門家である堀成美先生に「性感染症予防と啓発」テーマにご講演いただきました。	15
6月26日	PILCON CAFÉ VOL.2 Be yourself CAFÉ	原麻由美氏（ISK INTERNATIONAL APACマネジャー）/京乃ともみ氏（モデル・ヨガインストラクター）/ 渡辺さちこ氏（妊きゃりプロジェクト主宰・フリーランス）	(株)イデアインターナショナルMTGルーム	「自分らしさ」をテーマに、起業家やフリーランスとして活躍されている女性のリアルを聞きながら、自分のこれからのライフプランを考えました。	18
7月12日	ピルコン勉強会「性風俗で働く女性達の現状とそのサポート方法」	水嶋かおりん氏（SWASH・風俗嬢講師）	アトリエOKU	セックスワーカーについて現役のワーカーである水嶋かおりんさんを講師にお招きし、性風俗で働く女性のリアルとそのサポートの仕方をテーマにご講演いただきました。	14
9月6日	子宮と向き合うお話会	難波美智代氏（一般社団法人シンクパール代表理事）、まつながなお氏（しまの食堂女将）	勝どきイベントスペース	シンクパールの代表理事で子宮頸がんサバイバーの難波美智代さん、しまの食堂の女将で、子宮体がんサバイバーのまつながなおさんをゲストにお招きします。しまの食堂の無農薬野菜を中心とした自然の恵みたっぷりのブランチをいただきながら、お二人の体験談をお伺いし、子宮を大切にするってどういうこと？を参加者の皆さんと考えました。	12
10月31日	LGBT・性の多様性を学ぶハロウィーンNight★	薬師 実芳氏	新宿2丁目community center akta	LGBTや性の多様性について、当事者支援団体の方からお話を聞き、新宿2丁目のスタディツアーをすることで、様々なセクシャリティに関する理解を深めました。	15
11月15日	青年海外協力隊ってどうだった？～ガボンでのHIV予防啓発事業に関わって見えた現状と課題～	浅利亮子氏（元青年海外協力隊 ガボン HIV予防啓発事業担当）	中央区女性センター	青年海外協力隊としてガボンでHIV予防啓発事業に関わってきた浅利さんをゲストに、青年海外協力隊に行って感じたガボン・日本のHIV予防啓発の現状と課題など体験談をお伺いしました。	10

日時	イベントタイトル	講師・ゲスト	会場	内容	参加者（名）
11月29日	妊娠・出産・育児を語る会	新米ママフェロー	フェロー自宅	去年11月に妊娠、今年の8月に出産したママに妊娠・出産・育児についてのリアルな体験談をお伺いします。	10
12月14日	PILCON CAFÉ VOL.3 BOYS CAFÉ 「学校じゃ教えてくれない『男子の貞操』を学ぼう！」	坂爪真吾氏（一般社団法人ホワイトハンズ代表）/水嶋かおりん氏（風俗嬢講師）/勝部元気氏（コラムニスト）	EDITORY	障がい者の性をテーマに活動されている一般社団法人ホワイトハンズ代表の坂爪さんに「男子の貞操」をテーマに講演いただき、その後、性に関する専門家たちと男性が性を学ぶことで、恋愛やパートナーシップでどのように取り入れていくべきかを議論しました。	30
2015年 1月18日	「いつかは子どもがほしい！」男女が知っておきたい妊活のリアルと最前線	下中麻奈美氏（不妊専門クリニックスタッフ・胚培養士）	豊洲文化センター	不妊治療専門クリニックで胚培養士として最前線で活躍している下中さんをゲストにお招きし、妊娠と不妊治療の基礎知識と最新事情をお伺いしました。	7
3月8日	2014年度ピルコン活動報告会	やまがたてるえ氏（助産師）/京乃ともみ氏（モデル・ヨガインストラクター）	ザ・ボディショップジャパン本社	国際女性デーとなる3月8日。「これからの女性の自立と美しさ」をテーマにオープニングトークとして素敵なゲストの皆様と考えながら、ピルコンと一緒に活動を進めてくださった方、お世話になった方、ピルコンにご興味を持ってくださっている方に向けて、2014年度の活動報告会とささやかながら懇親パーティーを開催しました。	31
				合計参加者数：	238

2014 年度活動報告会を開催

NPO 法人ピルコンの 2014 年度活動報告会を THE BODY SHOP 本社にて開催しました。

国際女性デーとなる 3 月 8 日。今回、活動報告会のオープニングトークとして、ピルコンのアドバイザーで助産師のやまがたてるえさん、モデル兼ヨガインストラクターの京乃ともみさんをお招きし、ピルコン理事長の染矢を交えて「これからの女性の自立と美しさ」をテーマにトークセッションを行いました。日々、女性の健康と向き合いサポートされているお二人と、女性が充実した毎日を楽しむ秘訣や、自分と向き合う大切さについて語りました。その後、各事業担当者より 2014 年度の実施報告と、今後の方向性・展望についてプレゼンを行い、参加者同士の交流会を行いました。

ご参加・ご協力いただいた皆様、温かい応援のメッセージをいただいた皆様、ありがとうございます！

2015 年度の事業展開

今後のイベント事業は「Pilcon College<ピルコンカレッジ>」として、講座と対話を通して、自分らしく生きるヒントを見つける学びの場づくりを行っていきます。専門家による講義と参加者同士の対話によりリプロダクティブヘルス・ライツ(*)についての学びを深める講座を 2 ヶ月に 1 回のペースで開催。全 7 講座を予定しており、それぞれの講座を受講していただくことで、最新の知識を身につけると共に、判断力が磨かれ、自分らしい豊かな人間関係を築くことができるようになります。

(*性と生殖に関する健康・権利)

【開催予定テーマ】

- 婦人科ドクターに聞く！女性のからだのリスクと今からできること
- 世界と日本の最新ジェンダーとセクシュアリティ
- 男子の性
- 「母になる」ということ
- LGBT
- 生殖医療の最新事情
- ライフデザインワークショップ

詳細はピルコン HP をご覧ください。皆様のご参加、お待ちしています！

[4] その他啓発・講演活動

各種イベントへの出演や、WEB ページでの情報発信、執筆活動を行いました。

【講演、イベント出演・参加】

2014 年 5 月

- JOICFP 主催国際社会で通用する次世代の女性リーダーをつくる、女性のための学びの場　GIRL meets GIRL College の講師として理事長染矢が健康に関する講座を担当
- JOICFP 主催 開発途上国の政府機関や NGO にて思春期保健分野の企画･指導者を対象とする思春期保健ワークショップの講師として理事長染矢が「保護者向けの性教育プログラム（コンテンツ）について」をテーマに講座を担当
- 特別養子縁組推進キャンペーンと「女性のライフスタイルと特別養子縁組という選択」を共催

  コーディネーター：次世代日本研究機構 西田陽光

  ゲスト：一般社団法人アクロス・ジャパン代表理事 小川多鶴氏、日本誕生学協会 代表理事大葉ナナコ氏
- 民主党本部政策調査会 少子化・人口減少問題検討チームの意見交換会に性教育を行う専門組織として参加

9 月

- NPO 法人女性医療ネットワーク事務局、ウィミンズライフデザインソサエティ主催

  「女性の健康文化祭　女性が動けば世界が変わる」に発表団体として参加

11 月

- 城西国際大学 公衆衛生看護方法論の授業にてゲスト講師を担当

【WEB での情報発信】

正しい性の知識をわかりやすく伝える動画コンテンツを企画・制作・配信を行い、合計で 130 万回以上再生されています。

- あなたの知らない、日本の性の“不都合な真実”

日本の性に関する現状を伝え、問題喚起を行う動画

http://www.youtube.com/watch?v=p5TNpOTPK2I

- パンツを脱ぐ前に知っておきたいコンドームの正しい付け方

コンドームの正しいつけ方を動画で分かりやすく解説し、確実な避妊につなげる動画　※Link-R との共同制作

https://www.youtube.com/watch?v=CCrXFxtOHt0

ピルコンを応援してくださる皆様

ピルコンにご助成、ご協賛、商品や会場の無償提供などにご協力いただいた企業様を掲載いたします（順不同）

花王株式会社様

公益財団法人電通育英会様

特定非営利活動法人 ETIC.様

株式会社イデアインターナショナル様

株式会社典雅様

ザ・ボディショップ様

（株式会社イオンフォレスト様）

コンサルティング＆シェアスペース WaO 様

フェロー研修や勉強会、講演資料の作成にご協力・アドバイスをいただいた先生方：

上村茂仁先生（産婦人科医・ウィメンズクリニックかみむら院長）、蓮尾豊先生（産婦人科医・あおもり女性ヘルスケア研究所所長等）、清水信輔先生（東京女子医科大学・同大学院助教授）、堀成美先生（独立行政法人国立国際医療研究センター）、村瀬幸浩先生（日本思春期学会名誉会員等）、やまがたてるえ先生（助産師・バースセラピスト・NPO 法人 JASH 性の健康教会理事）※2015 年 4 月現在

メディア掲載・受賞暦

【執筆記事】

- ニッポンの深層（真相）を各界の専門家・識者が分かりやすく解説するウェブマガジン Next Media Japan In-Depth にて「どうする？性教育」連載
- 子どもと若者の成長を支えるアナタのためのウェブマガジン「ひみつ基地」にて記事執筆
- 季刊 SEXUALITY No.68 にピルコンの活動を掲載

【メディア掲載】

- 2014.4　雑誌広報会議 2014 年 4 月号にてピルコンの活動を掲載
- 2014.6　クロワッサン 6/25 号「あなたに伝えたい」に掲載
- 2014.12　ウレぴあ総研 ハピママ*　「『性教育』に難しい説明はいらない! 親が子に本当に伝えるべき３つのこと」Parents for 2 親子向けイベントを掲載
- 2015.2　ヨミウリオンライン「未来をつくるシゴト」にインタビューを掲載
- 2015.2　西日本新聞「生まれたとき絵本つくろう　親子で命見つめ直して」Parents for 2 親子向けイベントを掲載
- 2015.3　北陸中日新聞特集 popress　「若い子たち、性を考えて。」理事長染矢のライフストーリーとピルコンの活動を掲載
- 2015.4　ログミー　12 月に実施したピルコンカフェ「学校じゃ教えてくれない！『男子の貞操』を学ぼう！」のイベントレポートを掲載

【助成金取得・受賞暦】

- 2014 年度 電通育英会助成プログラムとして LILY が採択
- 花王社会起業塾 イノベーション部門に採択

ご支援のお願い

NPO ピルコンでは、若者の性の問題について、正しい性の知識と判断力を育む支援により、これからの世代が自分らしく生き、豊かな人間関係を築ける社会の実現を目指す活動をしています。ご寄付だけではなく、活動や若者を取り巻く状況を知っていただくこと、周りの方に伝えていただくことも大きなご支援だと私達は考えています。皆様からのご協力、お待ちしています。

● イベントへのご参加

ピルコンは 1～2 ヶ月に 1 度ほど一般の方にもご参加いただける勉強会やイベントを開催しています。

詳細はピルコン HP「イベント情報」をご覧ください。

● ピルコン会員

ピルコンの活動に賛同し、活動を応援したい、支援したい方のための会員制度です。

ピルコン主催のイベントのお知らせ、ご優待や、活動報告書のご送付などの特典をご用意しています。

個人会員　一般：入会金 2,000 円　年会費 3,000 円　　学生：入会金 1,000 円　年会費 2,000 円

法人・団体会員　入会金 5,000 円　年会費 50,000 円

● フェロー（ボランティアスタッフ）・インターン・プロボノ

ピルコンでは、教育現場での講演活動や広報活動をサポートしてくださるボランティアを

募集しています。まずはピルコン HP より説明会にお申し込み・ご参加ください。

● ご寄付

1:[寄付口座のご案内]

ゆうちょ銀行

※他行からお振込みの場合　　店名・店番：018（ゼロイチハチ）　普通　4488995　トクヒ）ピルコン

※ゆうちょ銀行からお振込みの場合　記号：10140　番号：44889951　トクヒ）ピルコン

お振込みいただいた方にはお礼と活動報告をご送付させていただきますので、名前・ご連絡先をピルコン<pilcon.info@gmail.com>までご連絡ください。

2:かざして募金　ピルコンのロゴを指定のアプリでかざすと、

携帯料金から自動引き落としで寄付ができます。

3:goooddo　「応援ボタン」のクリックやシェアで、無料で寄付ができます。

http://gooddo.jp/gd/group/pilcon/

● 公式 Facebook

Facebook ページに「いいね！」をいただくと最新情報をお届けします。

https://www.facebook.com/pages/Pilcon/148933651838989

●公式 Twitter

Twitter にフォローいただくと最新情報をお届けします。

@pilc0n

NPO 法人ピルコン

設立：2013 年 10 月（2007 年 10 月より活動開始）

理事長：染矢明日香

活動領域:東京・関東圏を中心とする日本全国

団体 HP：http://pilcon.jimdo.com/

お問い合わせ：pilcon.info@gmail.com

「PILCON（ピルコン）」とは？

Program for **I**deal **L**ife through **CO**mmunication & **N**etworking

ワークショップ等のコミュニケーションと社会資源ネットワークの構築により、

その人それぞれの「理想的な人生・生活」を実現するためのプログラムを提供する団体の意味。